

DMPK編集委員会

下記2委員会を一括してDMPK委員会として募集いたします。なお、所属先については委員長に一任します。

委員長：千葉 寛(千葉大学)

主な役割・使命	具体的な事業内容	備考
編集委員会		
1) DMPKの定期刊行 2) DMPK三賞選考 3) 掲載論文の質の向上 4) 電子ジャーナル2次使用への対応 5) 科研費申請 6) 投稿料の再考	1) 定期的刊行を厳守する。特に2010年のIF取得までは至上のタスクとする。 2) 三賞のうち、編集委員が選ぶ最優秀論文賞については、選考規定の改正を平成19年度中に行う。 3) DMPKに掲載される論文の質の向上のための方策を考え、実施する。 4) 電子ジャーナル2次使用の要望について適時対応する。 5) 編集委員長と事務局で平成21年度科研費の申請を行う。 6) 事務局と編集委員会で投稿料について見直しを行う。	
活性化委員会		
1) Theme issueの企画と実施 2) 海外からの投稿増促進 3) DMPKの活性化に関する提言と実施	1) 隔月に発行されているDMPKのうち、1号と4号をTheme issueにあてる。2008年1号、4号については、DMPK国際化委員会が企画を立て、Theme issueの投稿依頼、編集作業等が進行しているが、2009年1号については、大まかな企画ができた段階である。DMPK活性化委員会はこれを引き継ぎ、2009年1号の企画を実行段階に移すとともに、2009年4号以降の企画を立て編集委員会と協調しながら実施する。 2) 海外からの投稿促進にはIFを上げることが必須である。2010年取得予定のIFをいかに上げるかを中心に海外からの投稿促進のための方策を考え編集委員会と協調して実施する。 3) DMPKを活性化するための方策を考え、編集委員会と協調して実施する。	